

# 長期インターンシップの実例2(平成25年度)

- インターンシップ者であるポストク; 八島 圭佑 氏  
平成25年3月 東京農工大学大学院 連合農学研究科  
〈宇都宮大学配置〉 博士後期課程 修了  
【指導教員】農学部 村井保 教授

- インターンシップ先; 協友アグリ株式会社

- 雇用期間; 平成25年4月1日～平成25年7月31日



講演している八島氏

- 事前準備期間; 平成25年 4月 1日～平成25年 4月14日

- インターンシップ期間; 平成25年 4月15日～平成25年 7月31日

- インターンシップ後の進路; 平成25年8月1日付けで協友アグリ(株)に就職

○八島氏の感想; 就職を前提としたマッチングが確認できた。また、大学とは異なる新鮮な世界であり、研究概念を広げ、自己の成長を感じた。

○インターンシップ先の指導者(研究所 水口所長)の感想; インターンシップにより、弊社の研究開発活動において活躍できる優秀な人材を紹介いただくことは大変有難い。一方、実際にはインターンとして受け入れる時点で会社として採用の意思を持っていることから、即戦力として重要案件(入社前の内容開示は困難)に関わっていただくことを期待すると、インターンシップ期間が、より短い方が現実的ではないか。